

小腸悪性腫瘍に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年12月9日 ～ 2020年7月31日

〔研究課題〕 小腸悪性腫瘍プロジェクト研究

〔研究目的〕

小腸悪性腫瘍、特に小腸癌に関しては胃癌や大腸癌に比べ症例報告が少なく、小腸癌を含む小腸悪性腫瘍の病態は解明されていないことが多いのが現状です。また、小腸癌は未だ転移を伴う進行した状態で発見されることが多く、今後さらなる早期診断法の確立が課題であるといえます。現在、小腸腫瘍全般に関する取扱い規約がなく、その記述や記録が本邦で統一されていないため、一般に大腸癌取扱い規約が使用されており、小腸癌に対する化学療法についても、大腸癌に準じた治療法が選択されています。

このような背景のもと、本邦の小腸悪性腫瘍の実態を明らかにし、大腸癌取扱い規約とは独立した「小腸癌取扱い規約」の作成を目的として本研究は行われます。

〔研究意義〕

本研究成果により①小腸腫瘍の記述や記録を本邦で統一し、整理できる。②統一した基準で、大腸癌研究会で小腸癌の情報を集めることが可能になり、小腸腫瘍診療の均てん化を図れる。③「小腸癌取扱い規約」の英語版を作成して、本邦主導で世界へもその浸透を図れる。ことが期待されています。

〔対象・研究方法〕

対象施設：大腸癌研究会プロジェクト研究『小腸悪性腫瘍プロジェクト研究』の参加施設

研究方法：調査期間を2008年1月～2017年12月とし、各施設の全ての小腸腫瘍の臨床病理学的データを後方視的に検討し、研究代表施設である広島大学病院内視鏡診療科へ提出、データを集積する。集積されたデータをもとに、病態解明、さらには取扱規約の作成を行う。

〔研究機関名〕

研究代表機関：広島大学大学院医系科学研究科

帝京大学医学部外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

情報は、分析する前に氏名・住所・生年月日などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、広島大学病院内視鏡診療科に送られ、厳重に保管されます。本学で得られた本研究の情報は、研究終了後、帝京大学臨床研究センターで 10 年間保管した後、個人情報に十分配慮して廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:教授 橋口 陽二郎

研究分担者:助教 小澤毅士

所属:帝京大学医学部外科学講座

住所:東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 7220〕